



黒川大好き 仲よくがんばる

「返事・挨拶・感謝の言葉」笑顔いっぱい黒川小

伊万里市立黒川小学校 学校便り 令和7年7月18日発行 第8号



【黒川小HP】

文責：井手

人との関わりを大切に！

今学期もたくさんの外部講師や学校サポーターさんとの関わりがあり、普段の授業ではできない学びをすることができました。

7月3日アスリート派遣事業（5・6年）

アスリート派遣事業として、元バスケットボール選手の川面茜さんが来校され、5・6年生にバスケットボールを教えてくださいました。準備運動や基礎的な運動のあと、実際にゲームをして子どもたちは楽しく活動することができました。その中で、川面さんは、「自分の頭で考えて行動すること」というのを、常に言われました。いろいろな動きをするにも、手本を示した後、「足だけ動かしてもいいよ。」「方向を変えてもいいよ」「どうするかはそれぞれで考えてね」と言って、子どもたちを動かしていらっしゃいました。私たち教職員にも「極力、あれしなさい、これしなさい、という言葉は控えていただきたい。子どもたちに考えさせて行動してほしい」とのお願いがありました。ただ、バスケットボールを楽しむだけでなく、



今後の子どもたちの生き方にも大きく関わる大事なことを教えていただきました。とても良い経験になったことと思います。



7月3日認知症キッズサポーター養成講座（4年）

今、4年生は総合的な学習の時間に、「福祉」について学習しています。その中の一つの活動として、市役所・ひまわり会・敬愛園から、「認知症」についての話をしに来ていただきました。「認知症とは」「尊厳のある暮らしとは」「接し方は」「敬愛園について」などなど、子どもたちに分かりやすくお話していただきました。特に、接し方は**3つの「ない」**に気を付けるとのことでした。**1. 驚かせ「ない」2. 急がせ「ない」3. 自尊心を傷つけ「ない」**です。これは、認知症の方だけではなく、高齢者の方にも当てはまります。子どもたちは、自分のおじいちゃん・おばあちゃんたちにも気をつけようと考えていました。講座が終わっても、来てくださった8名の方と楽しく談笑する時間があり、来られた方が、大変喜んでくださいました。最後は玄関まで全員でお見送りをしていて、いい学びができたなあと感じました。2学期には実際に敬愛園を訪問する計画もあるようです。



5年生の調理実習や裁縫の実習、6年生の調理実習の際、学校サポーターの方に来ていただきました。調理実習の時は、子どもたちが安全にできるような声掛けをしたり、道具の片づけを手伝ったりなど細やかなサポートをしていただきました。また、裁縫の実習では、玉止め玉結びの仕方を一人一人丁寧に教えていただきました。おかげで、はじめは苦手でもやる気も出なかった子どもも、みるみる上達し、楽しそうにフェルトの小物づくりに励んでいました。できるようになると大人でもうれしいものですね。このように、子どもたちのやる気を引き出していただけて「感謝！」です。



きゅうりやどんどんの営業も大盛況の中終わりました。これまで、きゅうりのことでお世話になった坂本さんと JA の鳥巢さんに感謝の気持ちを伝えようと2年生が計画しました。残念ながら、鳥巢さんは仕事の都合で欠席されましたが、坂本さんに来ていただきました。子どもたちは、きゅうりの歌を歌ったり、プレゼントを渡したりして感謝の気持ちを伝えることができました。一緒に「貨物列車」をして遊んだりもしました。坂本さんは、子どもたちの知らないところで、よく放課後に来てはきゅうりのお世話をしてくださいました。そういう影の支えもあっておいしいきゅうりがたくさん収穫できました。本当にありがとうございました。



1年	2年	3年	4年	5年	6年
----	----	----	----	----	----

[illegible]